

## 2020年度 小委員会活動成果報告

(2020年12月28日作成)

小委員会名	期限付き建築物設計法小委員会		主 査 名：辻 聖晃 就任年月：2017年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：松永茂実
設 置 期 間	2017年4月 ～ 2021年3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：期限付き建築物の具現化に向けて、前身の小委員会での検討重点テーマ（適用設計ルートを分ける建物規模・設計荷重再現期間の決定係数・相応しい仕様規定）を踏まえ、設計法をより充実させ、既刊の『期限付き建築物設計指針(2013)』の改定版を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：2016年度大会大会で実施したPDを踏まえた検討等を行う。</p> <p>2年度：期限付き建築物の具現化に向け検討を深め、改定内容を具体化する。</p> <p>3年度：『期限付き建築物設計指針(2013)』の改定を前に、PDを開催する。</p> <p>4年度：充実した設計法を示した改定版を脱稿する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：辻聖晃（大阪電気通信大学） 幹事：木村麗（建材試験センター） 委員：岩崎敏之（静岡文化芸術大学）、軽部正彦（森林総合研究所）、木村衛（エイ構造研）、近藤吉治（構造計画研究所）、坂井正美（アップコン）、佐々木健友（太陽工業）、新藤健太（森林総合研究所）、永野康行（兵庫県立大学）、林篤（JR東日本建築設計）、森保宏（名古屋大学）		
設置WG (WG名：目的)			
2020年度予算	610,000円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s31/">http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s31/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	14回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『Introduction to a New Design Concept for Buildings with Predetermined Service-life and Conditions of Use』（期限付き建築物設計指針（2013）[英語抄訳版]）【デジタル・オンライン版】
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	以下の成果を得て、目標を達成した。 1. 「期限付き建築物設計指針(2013)」改定版について査読提出の段階に達した。 2. 「期限付き建築物設計指針(2013)」英語抄訳版についてデジタル・オンライン版を刊行した。
委員会活動の問題点・課題	